

9月20日から

希望するすべての方を対象に

オミクロン株(XBB.1.5)に対応した ワクチンの接種が始まります。

詳しくは市町村からの案内をご確認ください。



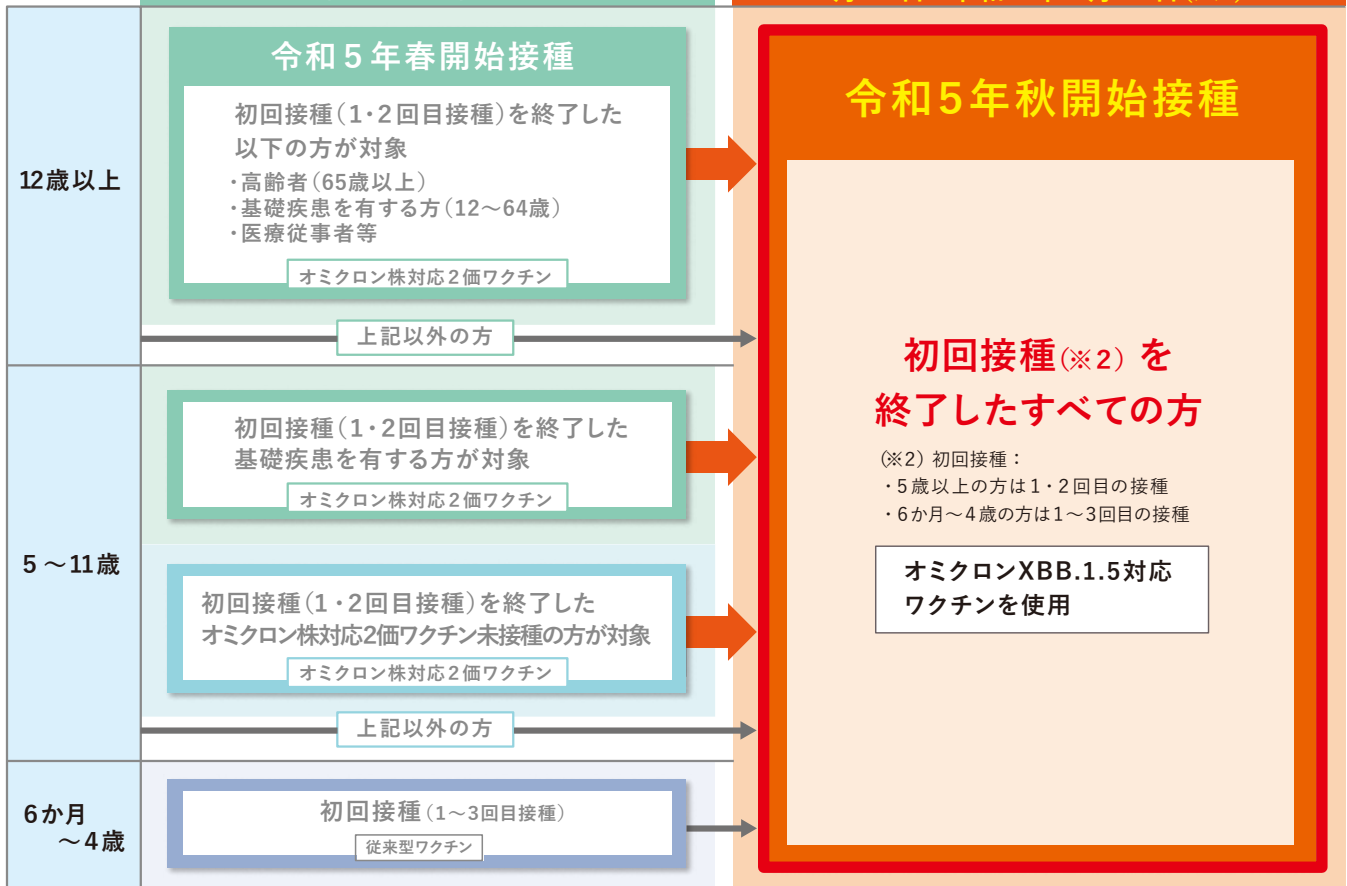
オミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチン接種対象と接種開始時期

- 9月20日以降、生後6か月以上のすべての方に対して、新型コロナのオミクロン株(XBB.1.5)に対応した1価ワクチン(XBB.1.5 対応ワクチン)の接種が始まります。
- 初回接種がまだの方は、9月20日以降はXBB.1.5 対応ワクチンでの初回接種となります。

特例臨時接種 = 自己負担なし

5月8日～9月19日

9月20日～令和6年3月31日(※1)



注：接種回数や接種証明については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

(※1) 特例臨時接種の実施期間は令和6年3月31日までです。

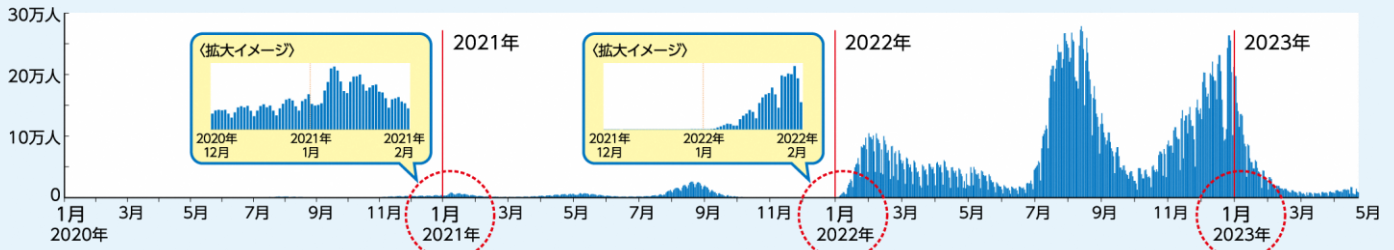
初回接種がまだの方

9月20日以降は、XBB.1.5 対応ワクチンでの初回接種となります。
詳しくは自治体にご確認ください。まずは、初回接種を受けてください。

これまで3年間、年末年始に新型コロナは流行しています。

令和5年秋以降、重症化リスクの高い高齢者等にはXBB.1.5対応ワクチンの接種をおすすめします。若い方も接種できます。

〈日本国内の新規感染者数(1日ごと)〉



厚生労働省ホームページ「国内の発生状況」をもとに作成

XBB.1.5 対応ワクチンの 効果

- 非臨床試験において、追加接種（4回目接種）として、XBB.1.5 対応ワクチンを投与したマウスでは、投与の1か月後にオミクロン株 XBB 系統（XBB.1.5、XBB.1.16、XBB.1.16.1、XBB.2.3）に対して中和抗体の誘導が認められました。
出典：薬事・食品衛生審議会提出資料
- この試験での中和抗体価のデータに加えて、これまでの2価ワクチンに関する知見を踏まえて、XBB.1.5 対応ワクチンにはオミクロン株 XBB 系統への有効性が期待できると考えられます。

XBB.1.5 対応ワクチンの 安全性

- ファイザー社の XBB 対応ワクチンについて、各年齢において、下のような副反応が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎が知られています。

| 発現割合 | 症 状 | | |
|-------|---|----------------------------------|-------------------------------------|
| | 6か月～4歳 | 5～11歳 | 12歳以上 |
| 50%以上 | 易刺激性（※1） | 疼痛（※2）、疲労 | 疼痛（※2）、頭痛、疲労 |
| 5～50% | 疼痛（※2）、発赤・紅斑、腫脹（※3）、傾眠（※4）、頭痛、食欲減退、下痢、嘔吐、筋肉痛、疲労、発熱、悪寒 | 発赤・紅斑、腫脹（※3）、頭痛、下痢、筋肉痛、関節痛、悪寒、発熱 | 腫脹（※3）、発赤・紅斑、下痢、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、発熱 |
| 1～5% | 関節痛 | 嘔吐 | 嘔吐 |

（※1）易刺激性：機嫌が悪い（※2）疼痛：注射部位の痛み（※3）腫脹：注射部位の腫れ（※4）傾眠：眠たくなる様子

出典：添付文書（コナチ筋注 6ヵ月～4歳用、コナチ筋注 5～11歳用、コナチ RTU 筋注）

◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。